

めまい症例におけるvHIT検査結果の検討

京都府立医科大学耳鼻咽喉科では、以前にめまいの治療を行った患者さまの診療録（カルテ）を使って下記の臨床研究をあらたに実施しています。

実施にあたり京都府立医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

・ 研究の目的

めまいの原因である前庭障害ではビデオヘッドインパルステスト（vHIT 検査）で、患側に頭部を回転すると、前庭動眼反射の速度の減少や、サッカードとよばれる急速な眼球運動が起こります。しかし、患側だけでなく健側でもサッカードが見られることもあれば、患側といえども毎回生じるわけでもありません。また、従来のカロリックテスト（温度刺激検査）と乖離する場合もあり、当科ではそれらのメカニズムを調べるために過去のデータから研究を行いたいと思います。

・ 対象となる方について

2017年1月1日から 2024年12月31日までの間に、京都府立医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科でvHIT検査を受けられた方

・ **研究期間**： 医学倫理審査委員会承認後から2026年12月31日

・ **試料・情報の利用及び提供を開始する予定日**

利用開始予定日：医学倫理審査委員会承認日（2024年11月19日）

・ 方法

当院耳鼻咽喉科においてめまい疾患の治療を受けられた方で、診療録（カルテ）より以下の情報を取得します。vHIT 検査の眼球運動の大きさ、速度を分析し、めまいの現状について検討します。

・ **研究に用いる試料・情報について**

情報：疾患名、vHIT データ、ほかの平衡機能検査結果、MRI 画像 等

対応表（個人情報を復元できる情報）は当院の研究責任者が保管・管理します。

- ・ **個人情報の取り扱いについて**

- ・ 患者さんの眼振所見、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないハードディスクに10年間保存します。このハードディスクが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。
- ・ また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。
- ・ なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 瀧正勝）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ **研究資金及び利益相反について**

利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等にしがたって管理されています。ですが、本研究は大学運営交付金（教室費）により実施します。本研究の実施にあたり、開示すべき利益相反はありません。

- ・ **研究組織**

- ・ 研究責任者

- ・ 京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 瀧正勝

- ・ 研究担当者

- ・ 京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 平野滋

- ・ 京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 中村高志

- ・ 京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 長谷川達央

- ・ 研究代表（統括）者

- ・ 京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室 瀧正勝

お問合せ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の

方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、2026年12月25日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

准教授 瀧 正勝 電話：075-251-5603

受付可能時間帯 月曜～金曜 ・ 9時～17時（年末年始を除く）